

東海コープ事業連合  
サステナビリティ・レポート

2019

TOKAI CO-OP  
SUSTAINABILITY REPORT 2019



生活協同組合連合会  
東海コープ事業連合

## 東海コープ事業連合の活動報告

### 発行にあたって

2018年度は、中期計画最後の年にふさわしく、さまざまな取り組みを進めてきました。日本生協連との共同事業によるCO・OP商品のリニューアル、エシカル商品の強化、冷蔵商品やドライ商品の品揃え強化、いつでも注文カタログの品揃え拡大、データ活用プロジェクト、媒体の選択配布の仕組みの実現、e-フレンズの強化など、新しい事業強化策を進めてきました。

商品事業では、「私のサイズ・私の単位」として、飲料の単品とケースの併売や、お米の2kg規格の導入、はぐくみ自慢に「薩摩(さつま)の黒毛和牛」を加えるなど、アイテム増とともに品揃えの強化などを進めてきました。

共同購入事業では、注文支援の取り組みとして、e-フレンズでレシピから注文できる仕組みをスタートさせました。また、利用履歴に基づく商品画像を掲載した、高齢者に優しいOCR注文用紙をスタートさせました。

2019年度は、新たな中期計画がスタートします。第3次中期計画の成果を発展させながら、成長戦略と生産性向上を進めます。

商品力強化は、冷凍・惣菜・生鮮素材の強化、惣菜のプロセスセンターの機能づくり、県別商品の強化、エシカルの総合的な強化などに取り組んでいきます。

共同購入事業では、新たな媒体の導入と選択配布の仕組みを本格スタート、e-フレンズの強化、注文のしやすさの発展などを進めます。

また、店舗事業の成長力強化と生産性向上のための改善策の実施、利用データ活用やAIの活用を進めます。

組合員一人ひとりの要望実現を会員生協や取引先の皆さんと一緒に進め、より良い生協づくりに向けて取り組んでいきます。

2019年6月



専務理事  
茂木 穰

## 東海コープ事業連合の理念

未来につながる安心生活  
東海の豊かな自然と、  
人と人のつながりを大切にします

## 東海コープ事業連合 第4次中期計画 | 2019-2021 |

### 基調

1. 事業連合に関する組合員の要望を着実に実現する取り組みをすすめます。
2. 会員生協の要望に積極的に応える取り組みを一緒にすすめ、共同購入・宅配の年1%の事業伸長をつくります。
3. 受託した業務の高度化に取り組むとともに、中期的な事業連帯に対応できるよう、政策立案力や執行力を強めます。
4. 事業連合として、人づくり担い手づくりについて、教育を重視して取り組みます。

第4次中期計画では、第3次中期計画で実現してきた取り組みを深化させながら、多様化する組合員のくらしの変化や要望を着実につかみ、応え、くらしに貢献していきます。

## SDGsの取り組みをさらに広げます

生協は持続可能な社会の実現に向けて、SDGsの実現に向けた取り組みを続けています。2018年度は組合員・職員に、生協の取り組みそのものがSDGsでめざしていることで、生協の事業と活動をさらに広げていくことが大切であることを、学習会や広報物などを通じてお知らせしてきました。



### SDGs(持続可能な開発目標)とは

2015年9月ニューヨーク国連本部において、150を超える国連加盟国首脳が参加のもと、国連持続可能な開発サミットで採択されたものです。2016年~2030年の15年間で達成するために掲げた、17の目標と169のターゲットからなる「持続可能な開発目標(SDGs)」です。本報告書では、SDGsの目標と関わりのある生協の事業・活動の事例にSDGsのアイコンを掲載しています。

	あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる		飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する
	あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する		すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する
	ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う		すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する
	すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する		包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する
	強靱(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る		各国内及び各国間の不平等を是正する
	包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する		持続可能な生産消費形態を確保する
	気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる		持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する
	陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する		持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する
	持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する		

## INDEX

1	コープのエシカルな取り組み	03
2	多様化する組合員のくらしにお応えできる企画づくり	05
3	商品の改善・開発	07
4	くらしにお役立ちできる店舗へ	08
5	物流の改善・向上に向けた取り組み	09
6	より便利に商品を利用いただける注文の仕組みの改善	10
7	安全と安心の取り組み	11
8	会員生協とともに進めるリサイクルの取り組み	13
9	職員の学習と働きやすい環境づくり	13
10	生活サービスではさまざまなくらしにあわせて商品提案しています	14
11	安全運転とくらしの保障をとおして地域や職場に安全と安心・笑顔を届けています	14

# 1 コープのエシカルな取り組み



エシカルとは「倫理的」という意味です。生協では地球や環境、社会や人々に配慮してモノやサービスを買うことを「エシカルなお買い物」（エシカル消費）と表現し、積極的に応援しています。



## ● レインフォレストアライアンス

「紅茶ティーバッグ」を中心に企画し、商品案内10月2週(41号)の特集紙面では認証マークと取り組みを紹介しました。



## ● CO・OP洗剤環境寄付キャンペーン

対象のCO・OP洗剤を1個購入につき0.5円をNPO法人ボルネオ保全トラストジャパンを通じ、「インドネシア西カリマンタン州の小規模パーム農園の持続可能な生産を支援する」プロジェクトに寄付しました。

2018年5月4週  
～11月3週(半期分)  
寄付金額：183,546円  
(前年比97.6%)



飢餓に苦しむ子どもたちに給食を。学校に行けば食べられる、学べる。

## ● レッドカップキャンペーン

「コープヌードルシリーズ」を中心に、商品案内10月2週(41号)、11月2週(45号)の特集紙面で紹介しました。1品購入につき1円を国連WFPに寄付しています。対象期間：2018年10月1日～11月20日



## ● CO・OPコアノンスマイルスクールプロジェクト

コアノンロールを1パック購入につき1円をユニセフを通じてアンゴラ共和国に寄付し、学校づくり・先生の育成などを行いました。

2017年11月1日  
～2018年10月31日(第8期)  
寄付金額：784,555円  
(前年比97.1%)



## スリランカの子供達に『スクールバッグ』を届けました

エシカルな取り組みとして、組合員と一緒に支える、「スクールバッグ提供支援プロジェクト」を2017年8月からはじめています。ディルマ紅茶製品を組合員に1点利用いただくごとに、1円を支援金として拠出。2019年1月から小学校に入学するスリランカの子供達へ、スクールバッグを79個届けられることとなりました。12月に、スクールバッグの贈呈式を含め、Dilmah(ディルマ)紅茶の本国(スリランカ)の視察訪問を行いました。



## 資源保護と環境に配慮した商品活動

### ● コープの森づくり

商品利用を通して、森・川・海の環境を守り育てる取り組みを、北海道の野付、沖縄の恩納村、インドネシアのタラカン島で取引先の皆さんと協力して進めています。組合員や職員は、産地で植樹の体験や、東海地域での交流会などの取り組みを通して、食と環境の関わりや環境活動の大切さを学びました。「コープの森づくりマーク」がついた商品の利用1品につき1円を、森づくりをするための苗木代や管理費としています。2018年度は合計約170万円を産地に送ることができました。



野付：植樹



海人の料理交流会：コープぎふ 岐阜西支所



タラカン島：植樹

### ● 「うなぎ資源対策協力金」贈呈式

10月16日、一色うなぎ漁協にて「うなぎ資源対策協力金」贈呈式を、会員3生協、コープこうべ、日本生協連、一色漁協関係者20名程で実施しました。東海コープより約3万円の協力金を贈呈しました(うなぎ対象商品1点購入で3円を寄付金として拠出)。資金は試験研究事業に充てられます。うなぎ供養祭を行った後、うなぎ約8千匹を放流しました。



協力金贈呈



うなぎの放流

### ● リキッドフィーディング飼料の取り組み

コープぎふ・コープあいちの産直豚を生産している「ロッセ農場」、コープあいち・コープみえの産直豚を生産している「大里畜産」では、未利用・未使用食品を活用したリキッドフィーディングの取り組みを行っています。リキッドフィーディングとは、食品工場で廃棄される食品残渣を液状飼料化し、飼料として活用することです。循環型社会への貢献のほか、消化吸収が良い、豚舎内環境の改善、呼吸器系疾病の軽減などのメリットがあります。



飼料となる食品残渣



リキッドフィード・製造のようす

### ● 限りある水産資源を守る MSC認証の取り組み

商品案内10月4週(43号)「魚料理で利用実績」でご飯がすすむ。」特集にてMSC認証を案内し販売促進を行いました。

15,090点/570万



※MSC認証は、持続可能な漁業で獲られた水産物、水産資源や海洋環境を守って獲った水産物に与えられる証です。

## 2 多様化する組合員のくらしにお応えできる企画づくり

要望に応える品揃え・企画づくりと注文のしやすさの両立をめざしました。

### 健康をサポートする企画

#### ●「減塩・低塩コーナー」スタート

商品案内食品の調味料ページに「減塩・低塩コーナー」をつくり、毎週4品を利用いただけるようになりました。また、いつでも注文カタログにも「減塩コーナー」をつくり、毎週利用いただけるようにしました。



#### ●いつでも注文カタログ「有機コーナー」

いつでも注文カタログで、調味料、ジャム、レーズン、お茶、コーヒーなど、計22品をいつでも利用いただけるようにしました。



### 組合員が求める商品の充実

#### ●「薩摩(さつま)の黒毛和牛」はぐくみ自慢認証取得

「はぐくみ自慢」は、生産者の確かな品質と安全への努力をカタチにした畜産物の自主認証制度です。2018年度は、「薩摩(さつま)の黒毛和牛」はぐくみ自慢認証取得商品として商品案内7月4週(30号)でデビューしました。農場は鹿児島県にある2農場に限定し、衛生管理の行き届いた加工場で加工を行った黒毛和牛です。デビューに先立ち、4月に組合員理事が産地を訪問し、取り組み状況の確認を行い、はぐくみ自慢認証授与式を行いました。



#### ●栽培自慢の基準に「おいしさ」も

自主認証ブランドとして2000年からはじまった「栽培自慢」では、農薬・化学肥料3割減だけではなく、今日的な基準として「おいしさ」を新たに加えました。おいしさは個人差がある基準なので、客観的に評価できるものとして、「糖度」を指標に認証が進んでいます。



#### 12月31日現在の「おいしさ」認証品目

JA青森(旧浪岡農協)	浪岡の葉とらず回さずぶじ(糖度選別)
しもつコープファーム	糖度選別みかん
紀ノ川農協	糖度選別みかん

#### ●離乳食素材の充実

きらきらステップシリーズは、10月度より企画品目数を6品から9品に拡大しました。また2019年2月には新商品2品「CO・OP国産野菜と豆乳で作ったホワイトソース」「CO・OP国産大豆と野菜入トマトコンソメソース」を加え、品揃えを拡充しています。きらきらステップシリーズやバランスキューブ、うらごしシリーズなどの離乳食に活用いただける冷凍食品は、2018年度は23.2万点/前年比185%と多くの利用をいただいています。

#### 8月3週実績

9,030点/1,194,440円



CO・OP北海道産大豆 大粒納豆 45G×3  
日本生協連(小杉食品)

### 商品案内書本紙・企画・ページ構成の改善

2018年4月より、人気の「お取り寄せ」、品揃えが不足していた「お酒」のページを増やしました。



2018年7月より、「よりどり割引」企画を特集ページで2ページ配置しました。



2018年10月より、リクエストページを増やし、組合員のリクエスト要望に応える改善を行いました。



2018年10月より、組合員の声に応えた改善(私のサイズ・私の単位)として、「飲料の1本規格」「お米の2kg規格」を行いました。



### 月刊いつでも注文カタログの商品の充実

2018年10月より、「きらきらステップ」品揃え補強、「減塩・低糖質・オーガニック」品揃え補強を行いました。



### OCR注文用紙の改善

2019年1月4週より、組合員のくらしにあわせ、ふだん利用する商品(過去利用商品)をもっと便利に注文できるように、一人ひとりの過去利用履歴に応じたOCR注文用紙に変更しました。

いつもご利用の商品	商品名	数量	金額	商品名	数量	金額
1159	ソフィアタッチ	238	3322	糖梅団分ぶどう	648	3324
3340	福ただの脱脂牛	1,258	3385	カフェオレアイス	298	3428
3478	もち栗団分タイプ	448	4072	トニカパラス	598	4391
4393	ふとん保存	568	8460	ニオイをとる砂	570	8696
8745	おしりき3P	237		パンパースパンM	1,185	760

# 3 商品の改善・開発

組合員の改善要望の「声」に応えました。



## 声をカタチに 改善・開発事例集の発行

会員生協組合員の商品づくりや商品改善、商品確かめ活動の成果と、商品を中心としたコミュニケーション事例などを掲載しました。組合員・役職員・取引先などへの情報発信と共有化をめざし、年間3回発行しました。



2019年1月発行「改善・開発事例集」 会員生協組合員の商品づくりの記事



改善した商品の紹介の記事

## 日本生協連との共同開発商品

日本生協連との共同開発を進め、25品の商品がデビューしました。商品の開発・改善にあたっては、モニター活動など、組合員と検討しながら進めています。



旧包装

新包装

● CO・OP 冷やし中華商品検討の様子  
各会員生協、組合員グループの活動の場に伺い、現行品、試作品を比較しながら試食し、評価いただくモニターを実施しました。



コープぎふ 恵那中津支所

コープあいち コープ岩田店

コープみえ 四日市センター

商品開発	2018年度	商品改善	2018年度	商品モニター	2018年度
日本生協連との共同開発	25	4月発行	8	CO・OP商品共同開発	12
組合員検討	1	10月発行	9	CO・OP商品新規お試し	3
		1月発行	4	一般商品新規	3
合計	26	合計	21	合計	18

(リニューアルを含むデビュー商品数) (改善開発事例集で情報発信した商品数) (2018年度に取り組みを実施した商品数)

## 地域の皆さんへ コープを広げて

2018年9月17日から30日までの2週間、東海3県で、「スマホでコープ」と「コープ商品」をテーマにしたテレビCMを放送し、認知度向上をめざして、地域の皆さんへのお知らせ活動に取り組みました。  
CM放送にあわせて、組合員から、CM登場商品のおすすめコメントやオリジナルレシピを募集し、600件を超える応募をいただきました。商品の利用が広がるよう、いただいた声を商品案内で紹介しました。



# 4 暮らしにお役立ちできる店舗へ

会員生協から受託してサポートしています。

## 日進店のリニューアルの取り組み



オープン初日開店前の様子

コープあいち日進店が11月1日にリニューアルオープンしました。リニューアルにあたっては以下の3つをストアコンセプトに、地域の組合員の暮らしにお役立ちできる店舗をめざしました。

- 1 暮らしとライフスタイルにあわせた私の欲しい商品が揃うお店
- 2 素材の美味しさを日々実感でき、鮮度と食の提案があるお店
- 3 健康・家族・地域を食卓でむすぶ元気をつなぐコープごはんのお店

また、店内装飾・照明、販売什器の変更や、環境に配慮し冷蔵ケースを省エネの設備へ、フロンからCO<sub>2</sub>冷媒へ入れ替えを実施しました。トイレ・組合員集會室を店内へ移設するなど施設面の変更を行い店内イメージを刷新しました。  
オープン初日は、開店前から300人近い組合員が並び、1日の来店組合員数3,014人の新記録を達成しました。



オープン初日開店後の店内の状況



リニューアルの目玉のひとつは、生鮮・即食強化の取り組み「お魚屋さんの惣菜」「お肉屋さんの惣菜」コーナー。「お肉屋さんの惣菜」は新たな取り組み。



他量販店では取り扱いのできないコープこころの「コープス」のパンを展開。

## 商品力強化の取り組み

2018年度も引き続き、畜産部門、惣菜部門の2部門では商品力強化をめざし外部コンサルタントの研修を実施しました。

### ● 畜産部門

基本的な畜産物の扱い方から加工方法、商品設計、売場づくり指導を受け、商品力強化、技術スキル向上に取り組みました。商品開発ではこの間、検討課題であった野菜入り商品の開発、展開を進めました。売場についてもコンサルタント指導のもと、新たにコープぎふ芥見店、コープあいち豊明店の2店舗で他量販店との差別化となる「焼肉の杜・ステーキハウス」の売場展開をはじめました。



畜産コンサル研修の状況



個食鍋 / 野菜入りは衛生上の関係で難しかった鍋を、念願の商品化。



もつ鍋セット / 野菜入りの「もつ鍋セット」。先行して導入した店舗は1パック800円ながらロスも少なく利用に結びついています。

### ● 惣菜部門

本年度から新しいコンサルタントのもと新商品開発と既存商品のブラッシュアップを進めてきました。今年度は売場への導入が速やかにできるようにインストア店舗の担当者も参加する仕組みにし、売場に変化をつくりだせるように進めました。



惣菜コンサル研修状況

### ブラッシュアップ商品



ロースかつ / ロースかつの品質を改善しながら、その他の原料のバランスの見直し。



ちらし寿司 / ひな祭りに向けて「ちらし寿司」の見栄えを華やかにブラッシュアップ。

### 新商品開発



から揚げ弁当 / 自慢の手作りから揚げを具材に使用したお弁当。



ロースかつ弁当 / 「ソース」「おろし」「味噌」の3種類の開発で品揃え強化。

## 5 物流の改善・向上に向けた取り組み



会員生協の業務効率改善と並行して、基幹物流の改善を進めています。

### 物流生産性向上に向けた取り組み

桑名SC・小牧ドライSC・小牧要冷SCでは、専務理事を講師に、ワークショップによる問題点の洗い出しと課題の整理を行いました。整理した課題を一覧に、その場で出た課題解決のキーワードから、何が問題で、何から取り組むべきなのか参加者全員で一致させました。スペースの確保が最大課題であった小牧ドライSCでは、年末しか動かない20パレットに及ぶコンテナを、作業改善でスペースに余力が出た桑名SCで保管するなど、相互で効果が出ました。人手不足に対応するため、生産性向上を継続して追及していきます。



### 物流作業改善 (桑名SCの雑貨別積作業改善)

雑貨別積品の作業改善に、継続して取り組みました。残業が常態化していることを課題として、定時に終了できる運用をめざしました。「歩行数、仕掛りを減らす」「無駄を省く」「積載を高める」「簡素化」「止める」「変える」を実施したことにより作業効率が向上しました。今回作業改善を行わなければ、大幅に作業時間が延長していました。引き続き、現状の把握、課題の洗い出し、対策検討、実行、検証を繰り返していき、働きやすい職場環境をつくっていきます。



別積品集品用ラック/コンテナに入る別積みのおむつや衛生商品は、カゴ車出庫から生産性の高い専用のラック集品へ変更。

### ドライ拡大ライン改修工事完了 (小牧ドライSC)

組合員要望に沿った品揃えをめざし、集品設備の改造を行いました。低頻度商品をカートでピッキングすることにより、ドライ取り扱いアイテムが400から600まで可能となりました。ドライアイテム増後、飲料のケース、1本企画の同時企画が可能となり飲料の利用増に結びつきました。入荷、補充など含めたセットセンター全体の生産性向上が課題です。



商品を置く棚を10棚増やし、注文の少ない商品は増設棚に載せることでアイテム増を実現し、集品カートで積み取る方式としました。

### フードバンク活動

組合員の財産である商品の中には、約束をしているお届け基準を過ぎて、処分せざるを得ない商品も少なからずあります。そういった商品を、支援を必要とする家庭に役立て、安心してらせる地域づくりのために、東海コープはNPO法人セカンドハーベスト名古屋と協力し、2015年よりフードバンク活動に取り組んでいます。常温品、冷蔵品、冷凍品を提供し、2018年で13万個、46トンの商品を提供しました。2018年は新たに青果(バナナ)の提供を始めるなど提供品目も広がっています。

カテゴリー	個数		重量 (単位:kg)	
	2017年	2018年	2017年	2018年
一般食品	41,026	46,296	12,240	12,834
パン	28,601	27,787	9,647	9,373
冷凍食品	13,687	19,620	4,227	6,827
冷蔵食品	28,702	41,060	10,191	13,735
青果	—	—	—	3,302
合計	112,016	134,763	36,305	46,070

## 6 より便利に商品を利用いただける 注文の仕組みの改善



インターネットを含め、注文媒体の新しい取り組みを進めています。

### 視覚障がい者が注文しやすく e-フレンズ de 音声カタログ 2018年6月より

視覚障がいがある組合員が、携帯電話“らくらくフォン”を自身で操作し、さまざまな情報を聞き取りながら、注文できる仕組みにリニューアルしました。喋って検索できる“音声検索モード”や、過去に利用したことのある商品から注文できる“いつもの商品から読み上げモード”など、便利な機能でカンタンに注文ができるようになりました。

#### 利用者の声 コープあいち 梅尾さん

「音声カタログ」と呼んでいる音声注文システムは何度も進化を重ね、その度に“優れモノ”になっていきました。買い物で苦勞をしている高齢者や視覚障がい者が、一人でも多く「音声カタログ」の愛用者になり、快適な生活を送れるようになってほしいと願っています。



### e-フレンズの新機能レシピ注文

2018年10月より、レシピを見て素材を注文したり、今週利用した商品から“作れるレシピ”を見ることができるようになりました。毎週の注文操作に“楽しさ・興味”を加え、毎週のお買い物が楽しくなる新しいコンテンツ“レシピ注文”機能です。



### 東海コープ Webサイトがリニューアル 2018年6月15日より

組合員(閲覧者)に商品や生協の取り組みなどの情報を鮮度よく伝わりやすく、会員生協のバックサイトとして、商品情報を中心とした受注内容を重点に、発信力を強めます。トップページのURLはこれまでと同様です。<http://www2.tcoop.or.jp/>



#### リニューアルのポイント

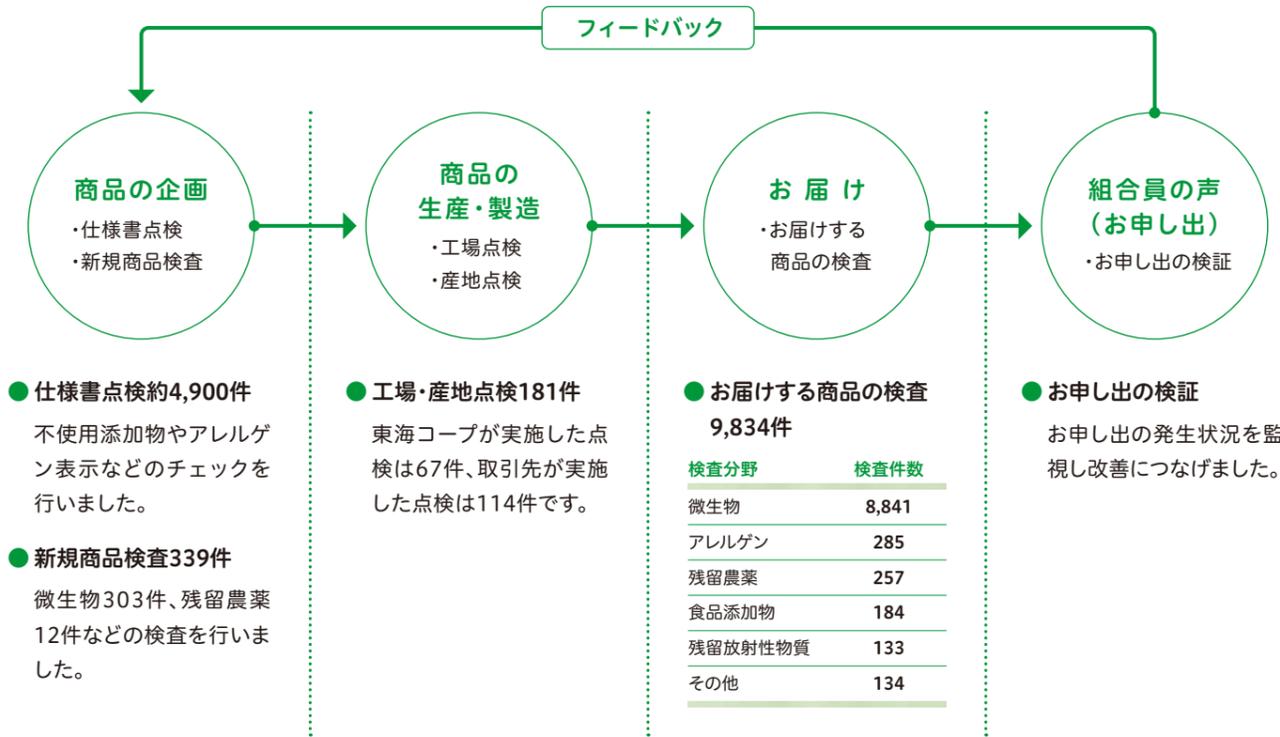
- スマートフォン対応画面
- 会員生協に活用していただけるページの充実
  - ・スマホでコープ(e-フレンズについて)
  - ・コープの商品(商品に対する生産者の思いや活用情報、安全・安心に関する情報)
  - ・社会的な取り組み(エシカル、森づくり、フードバンクなど)
- 同時リニューアルしたコープあいちと「お知らせ」を共有
  - 東海コープからの「お知らせ」をボタンひとつでコープあいちWebサイトに表示可能



# 7 安全と安心の取り組み

会員生協・商品部と連携し、お申し出対応レベル、管理レベルの向上に貢献しています。

## 品質保証の取り組み



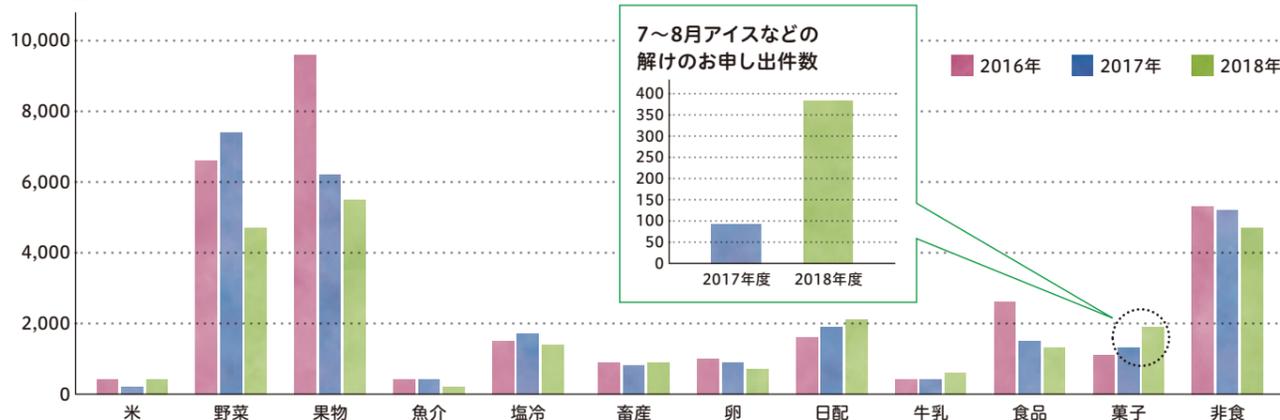
## お申し出を品質向上に生かして

2018年度のお申し出は、共同購入・宅配で約27,400件、店舗で265件でした。農産物のお申し出が、特に果物で減少しています(2016年度比77.9%・3,600件減)。2016年度開設した農産セットセンターでの温度管理と入荷時の点検強化の成果です。包材の破れ、品温維持の不備といった物流由来のお申し出が増加しました。特に2018年度夏は猛暑の影響で「アイスが解けて再凍結した状態で届いている」というお申し出が増加し、配送センターの協力を得て冷凍商品の温度調査を実施しました。



冷凍商品の温度・ドライアイスの残量調査

### お申し出件数の推移



## リスク予兆の早期発見と迅速な対応

東海3生協で調味料の漏れが発生しました。お申し出データを管理するクイックプロで同様の事例を確認できたため、商品のお届けを見送る判断をしました。お申し出の発生状況を監視し、お申し出の拡散を止める事ができた事例です。(この商品は後に製造上の問題から自主回収となりました)

## 取引先との品質管理向上の取り組み

東海コープ事業連合の取引先自主団体である「東海コープ事業連合虹の会」の品質管理研究会を2018年度も開催しました。130社と多くの取引先が参加され、食品表示法や食品衛生法改正、HACCP制度化対応の理解を深めました。

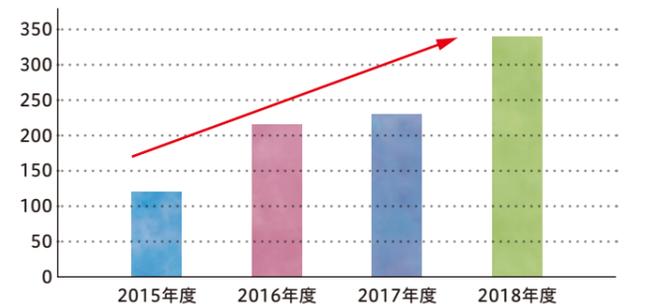


取引先講師による講演

## 新規商品の検査を強化

新しい商品の特性を考慮し品質確認の検査を強化しました。微生物検査、残留農薬、放射性物質、食品添加物、ヒスタミンなど検査センターの機能を最大限活用しつつ、全国の生協検査施設の協力を得ながら品質を確認しています。

### 新規商品検査数



## 残留農薬検査のレベルアップを行いました

検査方法を見直し、検査にかかる時間と使用する薬品を減らす効果的な方法に変更しました。検査方法を変更したことで検査できる農薬の種類は198項目から245項目へ増え、安全への監視力が向上しました。

検査項目が増えたことで、これまで検出できなかった農薬が10種類以上検出されています。これらについても基準と比較し、問題ないことが確認できています。



新しい農薬検査法の一部

## 食の安全・安心の情報発信を続けています

商品案内の「おいしくって安全なお話」、東海3生協広報誌の原稿など食の安全・安心に関する情報発信を継続しています。また、勘違いからお申し出につながっている事例を展示でお知らせする取り組みをはじめました。商品検査センターを訪れる組合員の皆さんに向けてはもちろん、研修に来る職員も学習できるようにしています。

### 勘違いからお申し出につながっている事例の展示



2020年には商品検査センターは設立20周年を迎えます。2020年7月には名東本部に移転の予定です。

## 8 会員生協とともに進めるリサイクルの取り組み



### 資源リサイクルの取り組み

組合員に届けた商品案内や容器を、会員生協を通して回収し、再生品の原料として活用しています。

#### ● 商品案内など(紙類)

再生紙の原料としています。(単位:kg)

商品案内など	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
配布量	11,121,184	10,692,990	11,147,528	12,624,488
回収量	8,780,090	8,642,084	8,548,071	9,419,762
回収率	78.9%	80.8%	76.7%	74.6%

#### ● 商品とカタログのお届け用ポリ袋

「ハンガー」「クリアファイル(文具)」「建設資材」などの原料としています。(単位:kg)

内袋	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
配布量	295,803	322,296	322,079	321,371
回収量	132,116	126,679	151,796	171,380
回収率	44.7%	39.3%	47.1%	53.3%

#### ● 卵パック(A-PET)

プラスチック製品の原料としています。(単位:kg)

卵パック	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
配布量	148,833	146,335	154,714	156,862
回収量	82,150	78,005	83,375	82,557
回収率	55.2%	53.3%	53.9%	52.6%



エコセンター/愛知県小牧市元町3-23  
株式会社ハートコープあいち(コープあいち子会社)で雇用されている障がいをもつ方々が、エコセンターでの作業を担われています。

## 9 職員の学習と働きやすい環境づくり



### 子ども参観日の取り組み

ワークライフバランス推進、男女共同参画、次世代育成などの観点から、夏休み期間に、子ども参観日の取り組みをコープあいちと合同で開催しました。

コープあいち、東海コープ事業連合職員の9家族12人の子どもたちから参加申し込みがあり、凸版印刷の工場、コープあいち名東センター、東海コープ本部事務所を見学しました。



### 西日本豪雨被災地支援の取り組み

2018年6月末から7月初旬にかけて、西日本を中心に広い範囲で豪雨災害に見舞われました。東海コープ事業連合は、日本生協連の呼びかけに応じ、広島県、岡山県の災害ボランティアセンター運営支援員



被災地のようす

として、職員2名を10日間にわたり派遣しました(コープあいちからは5名)。猛暑、物資不足の中、支援の活動を進めました。また、岐阜県関市のお見舞い活動の支援を行いました。

### 職員の学習

組織全体での教育研修のひとつとして、正規職員、パート、アルバイト職員を対象にeラーニング(インターネット上に登録した教材を使った学習)を進めました。2018年度は、「倫理方針・相談窓口の学習」、「BCP・災害対策」「内部統制・個人情報保護」「ハラスメント防止」「労務管理・健康管理」をテーマに、理解を深めました。

## 10 生活サービスではさまざまなくらしにあわせて商品を提案しています

### 健康づくりに役立つサービスを提案

日本医療福祉生協連と提携し、2018年2月よりスタートしたAICS(アミノインデックス®)がんリスクスクリーニングは、手軽に複数のがんの可能性が分かる検査です。2019年3月までに約1,300人の方に利用いただきました。

### お子さんの教育に役立つ家庭学習教材

利用しやすい料金で、最新の学校教育に対応した学習が自宅でも受けられる教育関連サービスを展開し、年間約4万件の利用をいただいています。幼児コースも加わり、タブレット教材を使った家庭学習が好評です。

### 資源のリユース、商品のリフォームを進めるサービス

宅配便を使って家庭に眠る衣料品、日用品の買取サービスを行い、1年間で約2,000人の方に利用いただきました。また、リフォームして使い続けるふとん打ち直しでは、1年間で約1,900人の方に利用いただきました。



## 11 運転とくらしの保障をとおして地域や職場に安全と安心・笑顔をお届けしています



### 子会社(株)東海コープ安全運転センター

#### 運転部

自動車を使用する生協は、ひたすら安全運転を励行して、地域社会の模範的役割を果たさなければなりません。そのために、安全運転教育は、操作技能のスキルアップのみならず、いつでもどこでも安全を第一に考え行動できる安全志向の高い職員を育てることを教育の柱としています。そして、安全運転に必要な知識の提供の他、安全意識を高めるための教育プログラムを実施しています。

教育のなかには、新入職員安全運転研修、安全運転主任トレーナー研修、管理者研修などの実施、毎月の「ドライバーのチエだめし」「コープ危険予知トレーニング」などの教材を提供しています。



新入職員安全運転基本訓練(愛知県犬山市にて)



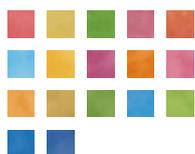
第25回コープ交通安全フェスティバル(名古屋国際会議場にて)サブテーマは、実践者が語る安全運転への道

#### 保険部

2018年度は以下の新しい取り組みを行いました。

● 団体がん保険の基本プランのおよそ半分の保障で、保険料も半額のハーフプランを新規取り扱いしました。そして、年齢による更新を迎える加入者のうち、保険料が上がる額が大きくなる50歳以上の方にお知らせDMを送りました。

● コープの介護保険の宣伝方法を従来の申込書付きパンフレットの配布から資料請求タイプのチラシに変えました。資料請求件数は年間で1,000件を超えます。組合員の関心が高いことから、認知症保険の取り扱いを開始しました。



東海コープ事業連合  
サステナビリティ・レポート

2019

生活協同組合連合会  
東海コープ事業連合

東海コープ事業連合の事業の概要

2019年3月20日現在

■事業の概要

名称	生活協同組合連合会 東海コープ事業連合
本部	愛知県名古屋市長区猪高町 上社字井堀25-1
設立	1994年4月1日
区域	岐阜県・愛知県・三重県
総事業高	811億円(2018年度)
出資金	9.86億円(2018年度)
職員数	667人(パート含む2019年3月20日現在)
東海3生協の組合員数	925,838人(2019年3月20日現在)

■事業内容

商品事業	商品の仕入れ・調達、商品の開発・改善、 お申し出管理、品質管理業務・商品検査業務
共同購入事業	共同購入商品の商品案内書作成・企画、受注業務
店舗事業	店舗商品の仕入れ・調達、企画、店舗開発と出店計画
情報システム事業	共同購入・店舗事業のシステム開発・運用
物流事業	共同購入・店舗商品の仕分け事業、 会員生協配送センターまでの物流管理
生活サービス事業	旅行事業、提携事業、チケット取扱い業務

■子会社の概要

株式会社東海コープ安全運転センター	
所在地	名古屋市東区東桜2丁目9番1号 高岳セントラルビル8F
業務	損害保険代理事業、 生命保険募集に関する業務、 運転実技研修の実施、教材の企画制作、 運転教育に関わる会員生協等からの 受託業務

お問い合わせ：経営管理部 TEL 052-703-1769 FAX 052-703-1631

発行日：2019年6月17日 発行者：生活協同組合連合会 東海コープ事業連合



FSC® 認証マーク

FSC® 認証は独立した非営利の国際組織であるFSC® (森林管理協議会)が森林管理基準に照らして、環境保全の観点から適切に管理され、責任ある森林管理がされている森林を認証する制度です。この冊子は、FSC® 認証された森林から産出した木材製品である紙を使用して製本しています。



ベジタブルインクマーク

この冊子は、印刷インキ工業連合会が定めた大豆油、亜麻仁油、桐油、ヤシ油、パーム油等植物由来の油、及びそれらを主体とした食用油等をリサイクルした再生油を使用した植物インキを使用し、印刷しています。